

LOVE LIFE

新しい家族を作る。はずだった—。



「どんなに離れていても愛することはできる」という歌詞が印象的な矢野顕子さんの楽曲「LOVE LIFE」から想を得て作られた映画。愛なんてあるかないかでれるものではなく、人間の心なんてどんなに親しい間柄でも全ては理解できない。このアリーナ心理描写と、特異な設定から生まれる物語が面白い。何気ない相手を思った言動が、愛となって伝わる。それがどう影響を及ぼすかも…。映画鑑賞是非ご参加ください!

POINT

※こちらの作品は通常上映作品の入場料金が適用されます

ベネチア国際映画祭 コンペティション部門選出!

妙子が暮らす部屋からは、集合住宅の中央にある広場へ一望できる。向かいの棟には、再婚した夫・二郎の両親が住んでいる。小さな問題を抱えつつも、愛する夫と愛する息子・敬太とのかけがえのない幸せな日々。しかし、結婚して1年経とうとする夫・夫婦を悲しい出来事が襲う。哀しみに打ち沈む妙子の前に一人の男が現れる。それは、失踪した前夫であり敬太の父親でもあるバクだった。

木村文乃、永山绚斗、砂田アトム、山崎纮菜

鷹田鉄三、戸田ちづみ／原野三鶴、田口モロヲ

監督・脚本: 深田晃司

製作:エフシントラックス

時間: 123分 [日本]

※こちらの作品は通常上映作品の入場料金が適用されます

東京国際映画祭「黒澤明賞」 コンペティション部門選出!

「ミニシアター・エイド基金」や日本映画界の労働環境改善等、映画制作以外での活動も評価されました。

深田晃司 (ふかだ・こうじ)

1980年生まれ。東京都出身。1999年、映画監修士課程修了。2005年、平田オリザ主宰の劇団・青龍団に演出部として入団。10年、「接待」が東京国際映画祭日本映画部門賞・作品賞、チャングン国際映画祭最優秀アジア映画賞受賞。13年、「階堂ふみ」主演の「ほととぎの羽」がナント三大陸映画祭グランプリ及び監督賞ダブル受賞。16年、「測る立つ」が第69回カンヌ国際映画祭「ある視点」部門審査員賞、第67回芸術文部科学大臣賞受賞。18年公開の「海を駆ける」で、フランス芸術文化勲章「シウバワ」受勲。ドラマ「本のいるい」(19話／メテル)を再編集した「本のいのしし」(ナント再編集版)が、第3回カンヌ国際映画祭「Official Selection 2020」に選出された。

4 シャイニー・シュリンプス!世界に羽ばたけ

POINT
「ミニアリーベイビング」の名称を定めたが、国際オリンピック委員会=IOCなどが、オリンピックの使用を禁じため、この名称になった。差別は初めからあった。そして今も変わらず存在する。



3 百花

POINT
水球チーム「シャイニー・シュリンプス」は、「ゲイゲームズ」出場のため開催地東京へ出発する。この「ゲイゲームズ」は、ゲイゲームズ連盟によって、夏季オリンピックの中止年には開催される同性愛者を対象とした合意競技大会で1982年から始まった。

当初は「ゲイオリンピック」の名称を定めたが、国際オリンピック委員会=IOCなどが、オリンピックの使用を禁じため、この名称になった。差別は初めからあった。そして今も変わらず存在する。



2 ドライビング・バニー

POINT
若くして認知症を患っている母と独立している子。それを誰が演ずるのかで映画の印象は決まる。若い娘から遠く恋する女性を演じた原田実枝子さん。明るく軽妙のない母の役を演じた菅原の役は「ほんとうにいい声だ」という評価です。

本作の主人公バニー・キングの行動は、いつも衝動的で時に反社会的だ。その姿には共感も感情移入もできないかも知れないが、物語の面白さは、どんな逆境であっても、明るく豪爽に笑い飛ばしながら楽しく生きている。行き当たりばったりけど決してこたれないと彼女を見つましい。正義やモラルの正解は?って思うはずだ。



1 プリンセス・ダイアナ

POINT
ババラッチという名の有名人を被写体にスキンシグナルスな内容を想起させる写真を撮るカメラマンを描く言葉で、その起源はイタリア映画「甘い生活」(アーティコ・フリーニ監督)1960年からという説がある。もともとの語源は、耳元で漏洩する「甘い言葉」のことらしい説もある。どちらの語源は、耳元で漏洩する「甘い言葉」のことらしい説である。映画の立ち位置は、ダイアナ妃の事故の責任の求めではなく、その時、その場面であなたは何を思っているのかを問うている。



上映中 11月11(金)

岐阜新聞映画部

【協賛】大和証券

Daiwa Securities

【企画・制作】岐阜新聞社営業局

【協力】キネマ旬報社

Cineplex

11月の活動

映画「みんなと俱楽部」第35回東京国際映画祭が、11月2日(水)に閉幕、クロージングセレモニーが行われた。映画塾にも来ていた今泉力哉監督作品『窓辺にて』が観客賞を獲得。本映画祭に出品された『雑魚どもよ、大志を抱け!』、そして滝藤賢一さん初主演映画『ひみつのなっちゃん』は岐阜新聞映画部が製作委員会入りしている。皆様と共に盛り上げていければと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

ので、どうぞ宜しくお願い致します。

岐阜新聞映画部WEBや公式SNSでは、

映画部ライターによる作品評などを紹介!

岐阜CINEX上映作品をはじめ、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

©Kent Gavin

監督:エド・バーキンズ
配給:STAR CHANNEL MOVIES
時間:109分 [イギリス]

◎

WEB・ファミリーマートでご購入の方へ

※お申し込みには「岐阜新聞映画部チケット」への会員登録(無料)が必要です。
※チケット券面額以外に手数料が別途掛かります。

新型コロナウイルス対策
万全で開催します!

QRコード

イベント開催時に、最前列の客席を使用禁止とし、登壇者とお客様の距離を2m以上空けて開催いたします。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■お問い合わせ

岐阜CINEX TEL 058-264-7151

◎

岐阜CINEX上映作品をはじめ、最新映画の作品評も掲載されていますので、ぜひご覧ください。

◎

映画『ひみつのなっちゃん』岐阜新聞映画部は両作品を応援しています

◎

WEB・ファミリーマートでの購入方法はこちら

◎

新型コロナウイルス対策
万全で開催します!

◎

新型コロナウイルス対策
万全で開催します!